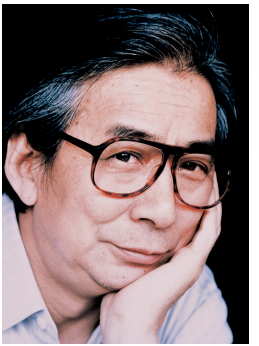
おおば比呂司

Oba Hiroshi



1921年札幌に生まれ、幼少より画才を現す。
兵役ののち、北海道新聞社に入社、図案課に籍を置く。この時期の多忙なカット、挿画描きの明け暮れは、おおば漫画の原点となる。

1958年上京　折りからの週刊誌ブームにのり、たちまち斯界の寵児となる。その速描きとアイデアの卓抜さは、ある人をして“輪転機”と言わしめる。しかし画風はどこまでもほのぼのとして温かく、あたかも水鳥の水面をゆうゆうとすべるさまにも似ている。そして水面下では、あわただしく細心に水をかく努力の人であった。

1982年、家族をともなってオランダに移住。風車、運河、雲、飛行機、街なみ、そして人間を、大らかに愛しんだ画家の眼は、どこまでも広くやさしい。

1988年8月没　享年66歳。